

要チェック!

理系学生はどんな手段で  
就職先を決めているのか？



## 目次

1. 理系学生の就活サービス利用状況は？
2. 理系学生が就活サービスを使っていないのはなぜか？
3. 理系学生はどんな手段で就職先を決めているのか？
4. そんな理系学生にアプローチするには？

## はじめに

優秀な理系学生を採用するには、  
理系学生がどうやって就活しているかを  
把握しなければいけない

皆さんは、自社で求める理系学生がどんな手段で就職先を決めているか、  
しっかりと把握できていますか？

例えば、自社では優秀な理系学生を採用したいのに、  
登録している学生の大半が文系の学生、  
というような求人サイトを利用していたとしたらどうでしょうか？

優秀な理系学生を採用するには、  
彼らが**どんな手段で就活を行っているか**を把握しなければいけません。

本書では、あまり知られていない**理系学生の就職先の決め方**と、  
それに対する**効率的な採用**の仕方をお伝えします！

# 01

## 理系学生の 就活サービス利用状況

理系学生の  
就活サービス利用率は低い！

### 理系学生の就活サービス使用状況

日本の  
大学生・院生の  
理系比率

主な採用サービスの  
理系ユーザーの比率  
(ナビサイトを除く)

46% → 17%

弊社調査結果

こちらのデータを見ると、文系学生に比べて  
理系学生の就活サービスの利用率は低いことが分かります。

では、なぜ理系学生は文系学生に比べて  
就活サービスを利用しない傾向があるのでしょうか？

## 理系学生が就活サービスを使っていないのはなぜか？

理系学生は研究が忙しく、  
課題を解決する就活サービスもない

### 理系学生の悩み



研究のコアタイムに  
追われ時間がない



研究室は狭い  
コミュニティで情報がない



自分の研究経験を活かせる  
環境がどこかわからない

弊社調査結果

理系学生は文系学生に比べてより**専門性の高い研究**を行う傾向があります。  
そのため、自分の研究が忙しく、腰を据えて**就活をしている時間がない**という理系学生が多くなっています。  
また、理系学生に特徴的な悩みとして、自分の研究がどこで活かせるのか分からないというものがあります。

理系学生は**どこが自分の研究を活かせる環境なのかわかりづらい**のです。

そして、理系学生の就活サービス利用率が低い原因の一つとして、  
研究室内の**推薦・紹介によって就職先を決めてしまう**学生が多いことがあります。

このような理由から、理系学生は**就活に積極的でない**傾向があります。

## 理系学生はどんな手段で 就職先を決めているのか？

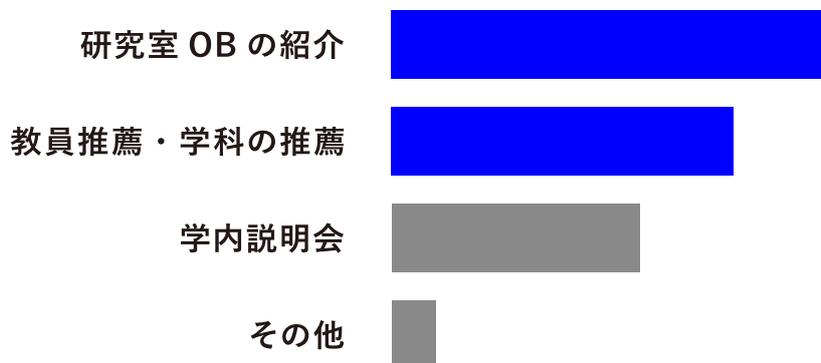
理系学生は文系学生に比べて就活サービスの利用率が低いことを確認しました。

では、彼らはどのように就職先を決めているのでしょうか？

先程も少しご紹介しましたが、理系学生の就活の手段として、研究室内の推薦・紹介があります。

実は、優秀な理系学生は、この**推薦・紹介で就職先を決めてしまうことが非常に多い**のです。

### 理系学生の就活経路



紹介と推薦が **7割** 弊社調査結果

上記グラフを見ても、推薦・紹介で就職先を決めてしまう理系学生が非常に高く、**一般的な就活サービスでは優秀な理系学生を採用するのが難しい**ということが分かります。

## そんな理系学生に アプローチするには？

では、このような傾向を持つ理系学生を効率的に採用するにはどうすればよいのでしょうか？  
先程みたように、理系学生は推薦や紹介によって就職先を決めてしまうことが多くなっています。

従来、理系学生のコミュニティは研究室など限られたものである場合が多く、  
外部の情報も得づらい状況にありました。

そのため、理系学生にとって就職先の選択肢が推薦・紹介によるものに限られていたのです。

この傾向は従来からあったのですが、最近は少し**変化が見られます**。

近年ネットの発達もあり、理系学生が**外部の情報を得やすい**状況になってきました。

従来とは違い、就活に積極的な学生が推薦・紹介だけでなく

**研究室の外に出てきやすくなってきている**のです。

優秀な理系学生にアプローチするには、こういった**外部に情報を求めている学生に**

**効率的にリーチしていく**ことが大切になります。そのためには、

「積極的に学内説明会を行う」「研究室訪問などで研究室とのコネクションを作る」などが効果的です。

ですが、これらの手法は**一般的な就活サービス利用よりもコストが高くなりやすい**傾向があります。

弊社のサービスLabBaseは理系学生の登録数が最多であり、

**全国トップ層の学生が14,000名以上**登録しています。

そしてその多くの学生が、推薦・紹介以外の選択肢を探している学生になっています。

LabBaseを活用すれば、表に出てきづらい、優秀な理系学生に効率的にアプローチしていくことが可能です。

ご利用方法や導入事例はこちらから！ <https://pol.co.jp/service/labbase>

貴社が採用活動を通して  
素晴らしい人材を獲得できることを祈っております。